

下川淵地区地域福祉活動計画

下川淵地区

公田町、横手町、亀里町竜門、亀里町阿内宿、亀里町寺家、
亀里町矢島、鶴光路町、新堀町、新堀西、下阿内町、力丸町、
徳丸町、房丸町、下川町



<年2回開催する「下川淵地区支え合い会議」
14町の自治会役員による町づくりの話し合い>



<14町から140名以上の介護予防サポーターが誕生
各町の公民館で、サロン・ピンシャン体操を実施>
(写真は下川町の七夕の集い)

自治会や各種団体と共にあゆむ、
下川淵地区の支えあいの町づくり
(町社協)

めざす地区の将来像

～つながろう下川淵～

人が集い交流するまち 安心安全なまち 歴史と文化を大切にするまち
住みよい福祉のまち 心豊かなまち みんなで支え合うまち

地区の情報

年2回の支えあい会議や子育てサロン、3大行事であるトライアングルフェスタ、市民運動会、文化祭が開催されているほか、「下川淵カルタ」とおして、子供の頃から地域の歴史を学んでいます。

また、町ごとの活動として、伝統的・文化的な活動、サロン活動やピンシャン元気体操などの交流活動が充実し、さらに、きめ細やかな民生委員活動が行われています。

子どもから高齢者まで多くの住民が地域活動に積極的に参加し、住民同士のつながりが強い地域です。

今後は、地域のつながりをさらに強め、健康を維持するとともに、支援を必要とする方を地域全体で見守るまちづくりを推進していきます。

地区の課題

高齢化の進行と生活環境の変化

生産人口の減少と高齢化の進行に加え、大型店舗の開業による人や車の往來の増加が、生活環境に影響を及ぼしている。

防災や福祉における拠点の未整備

浸水想定区域であるが、洪水の緊急避難所が未設置であったり、地区の福祉の拠点が明確になっていないなど、防災や福祉の基盤整備に課題がある。



<下川淵カルタのクイズ(文化祭)>

取り組むこと

日頃からの顔が見える関係づくりをさらに充実させる

全町での見守り活動を継続・発展させる
要支援者を含め、誰もが安心して生活できる
支援体制を確立する

地域防災力の一層の向上を推進する

自主防災組織と支えあい活動が連携した実効性のある避難体制を整備する
若い世代を含めた住民全体で防災・見守りの意識を共有し、地域の持続的な力を高める